

# 私たちの手で支えあいの地域をつくる



▷問い合わせ

芦屋町社会福祉協議会 (☎ 222-2866)

## —芦屋町のボランティア団体 紹介シリーズ5 「めるへん」 —

町内では、「芦屋町手をつなぐリボンの会」というボランティア団体が活動しています。その中に6団体が所属しており、さまざまな分野の活動をしています。今回は「めるへん」を紹介します。

### めるへん（結成して40年）

- ◆活動場所 中央公民館
- ◆活動日時 毎週水曜日  
午前10時から正午
- ◆活動人数 8人
- ◆活動に込めた想い

年2回、春と秋の図書館まつりに人形劇・影絵・ペーパーサートなどで参加しています。

長い間、保育所・学童クラブ・図書館まつりなどで披露してきましたが、会員がみんな高齢になり、また新型コロナウイルスで活動休止の期間があったため、現在は図書館まつりへの参加で手いっぱいになりました。しかし、今までに作り上げた切り絵の大型紙芝居やエプロンシアターなどたくさんの宝物が使われずに残っています。これらをどうするかが今一番の問題です。



### 【活動レポート】

取材をした日は、影絵の練習日でした。影絵は、音声とスクリーンの下から影絵人形を動かす人、そしてプロジェクターで絵を差し替える人との息がぴったり合うことがとても大事だと分かりました。常に全員が声をかけ合いながら行われる真剣な練習があるからこそ、観る人を感動させられるのだと感じました。一方、休憩中は笑いの絶えない楽しいひと時で、練習とのギャップもこの活動が長く続いている理由の一つだと思います。



めるへんの活動に興味がある人、見学・入会をしてみたい人は、芦屋町社会福祉協議会に連絡してください。

# 中学生の 「税についての作文」 表彰式



昨年11月13日、芦屋中学校で中学生の「税についての作文」入賞作品表彰式がありました。これは、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が全国の中学生を対象に税についての正しい知識と理解を深めてもらうために、租税教育の一環として作文を募集したものです。

芦屋町では、芦屋町長賞を受賞した芦屋中学校3年生の鈴木莉央さん(すずきりお)が表彰されました。

えばいいのに。」友人との何気ない会話の中の一言でした。当時の私が持っていた知識なんものは、本当に些細なもので。いくつか税金の使い道を知つていたとはいえる、唯一納めることのある消費税が高く感じる程度の知識でした。しかし、学校の授業で見たある映像が私の考えに転機を与えました。力力才農園で働く兄弟、ゴミの山を漁り、売れる物を探す女の子、家族に家を追い出されたストリートチルドレンと呼ばれる子供達。衝撃でした。いずれも十八歳未満の子供なんです。授業の終わり際に先生は私達にこう言いました。「生まれた環境が違うだけなんよな」と。私はこの言葉を聞き、私の生活は、日本はすごく豊かで安定していることを改めて実感しました。私は生まられてから現在まで、当たり前のように学校へ通い、教科書を使って勉強をし、休日には整備された公園で遊び、大好きな図書館で本を読み、困ることなく生活してきました。この当たり前はどのように成り立っているのでしょうか。そうです、このような公的サービスは全て税金によって成り立っているのです。この「税金」がどのような役割を持っているのか。単純な興味とともに、これから自身の生活のあり方を考え直すきっかけにもなると思い、調べることにしました。すると、調べいく中で社会保障や教育、土地の整



## 芦屋町長賞受賞作文を紹介します

▽問い合わせ 課税係  
(☎ 2223-3534)

芦屋中学校 3年 鈴木 莉央

「税金なんてなくしてしまえばいいのに。」友人との何気ない会話の中の一言でした。当時の私が持っていた知識なんものは、本当に些細なもので。いくつか税金の使い道を知つていたとはいえる、唯一納めることのある消費税が高く感じる程度の知識でした。しかし、学校の授業で見たある映像が私の考えに転機を与えました。

力力才農園で働く兄弟、ゴミの山を漁り、売れる物を探す女の子、家族に家を追い出されたストリートチルドレンと呼ばれる子供達。衝撃でした。いずれも十八歳未満の子供なんです。授業の終わり際に先生は私達にこう言いました。「生

まれた環境が違うだけなんよな」と。私はこの言葉を聞き、私の生活は、日本はすごく豊かで安定していることを改めて実感しました。私は生まられてから現在まで、当たり前のように学校へ通い、教科書を使って勉強をし、休日には整備された公園で遊び、大好きな図書館で本を読み、困ることなく生活してきました。この当たり前はどのように成り立っているのでしょうか。そうです、このような公的サービスは全て税金によって成り立っているのです。この「税金」がどのような役割を持っているのか。単純な興味とともに、これから自身の生活のあり方を考え直すきっかけにもなると思い、調べることにしました。すると、調べいく中で社会保障や教育、土地の整備など、想像以上に私達の生活と密接に関わっていることを知りました。税金は国民の生活を豊かにしているのです。一方で、海外支援を行っていくという記事を見つけました。詳しく述べていて、アフリカやアジアなどの発展途上国に対し、税金の一部を財源として支援しているとのことでした。国民の中にはこの活動に対し、否定的な意見を持つ人もいるのですが、私はそうは思いません。とても価値のある有意義な活動である上に、国際協調の面から見てもすごく大切なことだと感じます。このような様々な税の使われ方を知り、正直全くと言つていい程関心がなかった税について、少し興味を持つようになりました。

改めて、私は税を納めることには意義があるとともに、大きな価値があると思います。そして、これから日本が、世界全体があるべき形であるために必要不可欠なものになるでしょう。少なくとも日本では税金によって国民の生活が豊かになつているのです。私は今後、年を重ねるにつれて、これまで以上に多くの税金を納めることになるでしょう。しかし、私にとって税金を納めることは未来の日本、そして世界への価値ある先行投資です。税金に対してのイメージを明るくするために、税への知識を深め、税を通じて未来を創ることに誇りをもつてみませんか。